ほけんだより12月

和歌山県立田辺工業高等学校保健室

2020 年 12 月号（Vol.19）

新型コロナウイルス感染症の発生確認から 12 月 8 日で 1 年になりました。
全世界的に感染拡大が止まりません。
国内でも、感染者、重傷者割合ともに増加傾向にあります。
最近では、学校でのクラスター発生も多く報道されています。
感染予防対策を再確認し、一人一人が感染予防を意識した行動をとりましょう。

感染リスクが高まる「５つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば５人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

場面①のようなことはないと思いますが、食事場面では注意が必要です。
回し飲みや、食器の使い回しなどはぜったいにやめましょう。

学校では、特に昼食時に注意しましょう。

- ○必ず石けんで手洗いをしてから食べましょう。
- ○できるだけ自分の席で、人との距離をとって、おしゃべりを控えて食べてください。
- ○特に、自分の席以外で食べたときは、使用後すぐに机や椅子など飛沫が飛んだところを消毒してください。
- ○おしゃべりの時は必ずマスクをつけましょう。